

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日: 平成30年11月1日 定価: 150円 発行人: 清澤正人 印刷: 山陽印刷株式会社

11月号 2018

Vol.273



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

- | | | | |
|-----------------------------------|---|-------------------------------|---|
| 平成30年度都道府県組合事務担当者研修会開催 | 1 | 県部長サミット／全旅連女性経営者の会 (JKK) 定例会議 | 5 |
| 全旅連シルバースター部会経営研究委員会 現地調査／ | 3 | 第21回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介 | 6 |
| シルバースター登録申請のお願い(11月29日に登録審査委員会開催) | | 全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス | 7 |
| 全旅連青年部平成30年度臨時総会開催 | 4 | 全旅連協定商社会名簿 | 8 |

平成30年度都道府県組合事務担当者研修会開催 「熊本地震の教訓と総括」がテーマ

「住宅宿泊事業法・外国人労働者雇用」で情報共有を図る
シルバースター登録推進への呼び掛けも



あいさつのあと
全旅連活動報告
を行う多田会長



研修会に参加した都道府県組合
のみなさん



シルバースター登録推進に
ついて語る大木副会長と次
期全国大会について説明す
る茨城県の山本事務局長

C→REXを運営する
JTBビジネスインペ
ーターズ社からの説明

電気料金の削減について
説明するミツウロコヴェッ
セル社

全旅連は10月5日、平成30年度都道府県組合事務担当者研修会を東京・千代田区の都道府県会館で開催した。研修は「熊本地震の教訓と総括」が主題。熊本県組合が15項目にわたる熊本地震に対する熊本県組合の対応について説明し、また、熊本県健康福祉部から2名の出席があり、旅館ホテルへの避難の取組み及びその実績、検証と課題のほか宿泊施設提供事業マニュアルの策定などについて講話した(2ページに関連記事)。

全旅連活動報告では、多田会長が住宅宿泊事業法について述べ、「民泊は今年の6月から営業開始となったが、これですべて決着したということではない。民泊をめぐる課題は数多くある。規制を緩和することにより得られるメリット、またそれによって発生するリスクや問題を総合的に検討する必要があるということだ。見直し規定は施行から3年後となっているが、それまでに全旅連は、どこが不合理で、また、どこが良いかをしっかりと精査していく考えだ」と今後の活動方針を示した。

また、外国人労働者雇用については「現在宿泊業4団体で共同して、技能実習制度への「宿泊業」の追加申請(今年度中に追加予定で進行中)を実施しており、並行して技能実習制度をベースに新しい在留資格の受入準備を行っている。この新在留資格は業界ごとに認定を受ける制度で最大5年間の就労を認める制度であり、即戦力のある人材の受入れ、労働力の確保が可能となるものだ」と述べ、現在全旅連が独自に進めている、送出国となる

ベトナム国との連携協定についても報告しながら「今、人手不足問題はその解消に向けて、一つの大きな扉が開こうとしている」と語った。

続いて大木副会長が「シルバースター登録推進」について述べ、「全旅連は20数年間シルバースター登録制度により、ハード、ソフトの両面で高齢者、障害者に優しい宿づくりを進めてきたが、今や日本の旅館・ホテルの魅力は広く外国人旅行者にも発信していかなくてはならないという時代の趨勢となっている」と語ったあと、「シルバースター登録施設に積極的に登録するなど、利用者の需要の高度化や多様化に対応したサービスの提供に努めてほしい」とした厚生労働省の竹林生活衛生課長の「全国旅館ホテル組合員の皆様へ」という公文書(3ページに記載)を紹介しながら組合員にシルバースター登録施設に登録してもらうよう全国の組合に協力を求めた。

このほか、「今後活動方針」として専門委員会による活動内容、住宅宿泊事業法の一部の改正、健康増進法の改正、新たな外国人労働者受入方針などについての説明。また、事務局からのシルバースター部会、人に優しい地域の宿づくり賞、C-REX、ETCコーポレートカード、電気料金の削減((株)ミツウロコヴェッセル)、全旅連保険制度(全旅連事業サービス(株))についての案内が行われた。第97回全旅連全国大会については茨城県組合の山本事務局長が説明した。記念式典、展示・物販、懇親会は水戸プラザホテルで6月5日に開催される。

「熊本地震の教訓と総括」について 第21回「人に優しい地域の宿づくり賞」厚生労働大臣賞受賞

熊本県組合が地震後1年間の活動を報告 県からは検証及び課題の整理とその対策



事務担当者研修会でメインとなった研修テーマは「熊本地震の教訓と総括」。熊本県組合の林田祐典事務局長と熊本県健康福祉部健康局業務衛生課の増永博和氏、徳永晴樹氏が講話を行い、野澤会長代行がコーディネーターを務めた。



説明する右から熊本県業務衛生課の増永・徳永の両氏。熊本県の林田事務局長

林田氏は熊本県地震における1年間(2016.4.14～2017.3.16)の県組合の対応について、その活動を順を追って説明した。その概要は次のとおり。

①全組合の営業状態調査(通常業務・部分営業・休業の3点での問合せ) ②NHK受信料収納委託業務の請求書発送についての即時請求書停止の申し入れと日本政策金融公庫への被災組合員への速やかなる融資の要望 ③被災者受入不可調査結果の県への報告 ④国への働き掛けの必要性から全旅連への被災者受入宿泊料金設定の依頼 ⑤県との協定実施細目(利用費用等)の決定 ⑥県との被災者受入協定に基づく業務の開始 ⑦知事、自民党熊本県連会長への要望書(「ふるさと旅行券」の発行について) ⑧要支援被災者の旅館ホテルへの収容 ⑨被災者受入事業・精算業務の開始 ⑩融資及びグループ補助金の説明会の開催 ⑪国からの影響調査への対応 ⑫県との被災者受入事業の総括とマニュアル作成の提案 ⑬宿泊施設提供事業マニュアル制作への協力 ⑭見舞金の配分 ⑮「南阿蘇を元気に!復興の夕べ」の開催(主催:県旅連、共催:県旅連女将会・県旅連青年部)。

林田氏は「今回の熊本地震は災害時、組合は会員のために何をすべきか、そして、平時の準備がいかに大切かを教えてくださいました」と述べ、「『災害発生後直ちに、組合が実行すべき行動パターンの取り決め、なるべく簡便な方法での組合員の営業状態調査や影響調査などを実行するための種々調査文書の整備』、『有事のマンパワー不足を補うため、都道府県組合の下

部組織である地域組合と協働して作業を行う態勢の構築』、『国やマスメディアへの迅速な情報提供と対応』や『県と被災者受入事業(宿泊施設提供事業)を運用する上でのそれに伴う組合文書』は前もって備えておく必要がある」としたほか、「『災害復興への組合員支援』についても常に情報を取り寄せておくことが大切だ」と述べた。

熊本県健康福祉部の増永、徳永の両氏は、「熊本地震の概要について説明したあと、「旅館ホテルへの避難の取組みと実績」について語った。

支援対象者は避難所等(車中泊や軒先避難含む)で生活している高齢者(65歳以上)、障がい者、妊産婦、乳幼児など配慮が必要な人とその家族(要配慮者等)。提供内容は宿泊施設・食事3食(専門的な介助、特別の配慮を要する食事を除く)・入浴としたほか、提供期間(4月21日～10月31日)、費用(被災者の負担なし、大人7000円、3歳～小学6年生3500円、3歳未満0円、消費税及び入湯税別、国と県で負担)などの取組み内容について説明。事業の仕組では、被災者からの宿泊要請は被災市町村が受け、県への避難所確保の要請と県からの受入可能施設の情報を得た上で組合員施設に対し宿泊調整を行う。組合員施設は空き室状況の把握や費用請求を組合事務局に対して行うという流れを示した。

次に「検証(市町村や組合の意見聴取)及び課題整理」について語ったあと、「対策」では旅館ホテル生活衛生同業組合の主な取組みとして、災害時は①旅館ホテルの被害状況の把握 ②県への受入可能宿泊施設の提供 ③各旅館ホテルの利用料金の取りまとめと県への請求(月単位) ④各旅館ホテルへの利用料金の支払いなどを挙げ、平常時は①事業内容の旅館ホテルへの周知 ②災害時における旅館ホテルの連絡担当者の確認 ③支部責任者及び組合員の名簿の県への提出 ④地域で被災者を受け入れるためのネットワークの整備 ⑤ホームページ未開設の旅館ホテルの把握 ⑥旅館ホテルにおけるバリアフリー等の状況確認—を行ってほしいと述べている。また、個々の施設の平常時までの取組みについては、①要配慮者の特性に合わせた施設・設備の改善(バリアフリーやペット同伴者への対応) ②避難者への情報提供体制の整備(インターネット閲覧環境等) ③緊急時への対応(医療機関のリストの作成及び連絡体制の整備)を挙げている。

最後に県作成の「宿泊施設提供事業マニュアル」(http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_21577.html)について説明し、「万が一の災害時に迅速に被災者支援の助けにしてほしい」とその活用を望んだ。

全旅連シルバースター部会経営研究委員会

HACCP衛生管理事業 現地調査

全旅連シルバースター部会(中村実彦部会長)経営研究委員会(伊藤隆司委員長)は、10月9日、奈良県奈良市「春日ホテル」にて、「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」事業(平成30年度生活衛生関係営業対策事業)として、公益社団法人日本食品衛生協会の協力を受けて現地調査を実施した。

春日ホテルの増田友宏社長よりホテル概要について説明後、小出謙二総料理長が同ホテルで提供しているおもなメニュー内容(朝食及び夕食)について説明。その後、小出総料理長の案内により同ホテルの調理作業現場を視察した。

このほか、本現地調査にも参加した奈良市健康医療部保健所生活衛生課との意見交換では、同課の安宅弘充氏より奈良市地域連携HACCP導入実証事業について説明を受けた。



調理作業現場を視察



春日ホテルの増田社長(右)と小出総料理長(左)



奈良市保健所の安宅氏(右)、川口氏(中)、南田係長(左)



多田会長ら全旅連幹部も現地調査に参加



会議の様子

シルバースター登録申請のお願い

11月29日に登録審査委員会開催

「シルバースター登録制度」は厚生労働省の協力を受けて平成5年6月に発足し、平成10年度からシルバースター部会が本格的にスタートしました。「楽天トラベル」や「るるぶトラベル」に登録施設専用の『人に優しい宿』ページをオープンしたりと、様々なPRやキャンペーンを実施しています。本年度は平昌パラリンピック金メダリストの村岡桃佳選手をイメージキャラクターに迎えてのキャンペーンを計画中です。

厚生労働省も右記のとおり組合員施設宛文書を作成し、シルバースター登録施設が増えることを期待していますので、11月29日(木)に開催する登録審査委員会に間に合いますよう、当該都道府県組合に登録申請していただきますようお願い申し上げます。

全国旅館ホテル組合員の皆様へ

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会におかれましては、平成5年から「シルバースター登録制度」により、高齢者、障害者等に快適に旅行していただくため、宿泊施設のバリアフリー化や健康に配慮した食事の提供など、ハード、ソフト両面において高齢者、障害者等に優しい宿づくりを推し進めていただいております。

政府においても、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」(平成18年法律第91号)の改正やバリアフリー化促進事業を適宜行うなど、高齢者、障害者等の自立した日常生活や社会生活を確保するために取組んでおります。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるため、「人に優しい宿」として真心を持ってお客様をお迎えし、お客様の安全・安心、さらには、安らぎなどのニーズに応えるシルバースター登録施設の重要性はますます高まってまいります。

組合員の皆様におかれましては、このような状況を踏まえ、引き続き、高齢者、障害者等に快適に施設を利用し、旅の思い出に残るおもてなしを提供していただくとともに、「シルバースター登録制度」を活用・発展させ、日本の旅館・ホテルの魅力を一般国民はもとより、外国人旅行者にも広く発信していただくよう、お願いいたします。

今後とも、シルバースター登録施設に積極的に登録するなど、利用者の需要の高度化や多様化に対応したサービスの提供を促進し、公衆衛生及び国民生活の向上に寄与していただきますよう、重ねてお願いいたします。

平成30年10月5日

厚生労働省医業・生活衛生局
生活衛生課長 竹林 経治

全旅連青年部平成30年度臨時総会開催

次期部長に鈴木氏（岡山県）を選出 重点事業に「雇用の安定と確保」と「旅の魅力発信」

全旅連青年部（西村総一郎部長）は9月26日、平成30年度臨時総会を東京・千代田区の都道府県会館で開催、青年部次期部長に7期14年出向、今期は政策担当副部長を務める鈴木治彦氏（岡山県・奥津温泉、「名泉鍵湯 奥津荘」）を選出した。来年4月に



西村部長と握手を交わす31・32年度次期部長の鈴木氏（左）

行われる通常総会で正式に承認される。

次期青年部長選挙に立候補したのは、鈴木氏一人だった。所信表明で鈴木氏は、『Challenge for the future～より良いかたちを次代へ～』をスローガンに掲げ、喫緊の課題である『雇用の安定と確保』、また、未来への投資として『旅行離れが進む若年層への旅の魅力発信事業』の2つの柱を重点事業に据えていく方針を示し、「この2つの事業をスタートさせ、成功させるには、全国の部員一人ひとりの能力を最大限に発揮できる環境づくりやチームづくりが必要である。親会を含め、オール全旅連で取り組むべき事業、また、われわれ青年部でしかなし得ることができない事業について、その区別をしっかりと行い、2年間全身全霊で取り組んでいきたい。『守り』でなく、『攻め』の姿勢で、もう一つ上のステージへと我々青年部を進めるべく、新しい時代に向かってしっかりと挑戦し続ける2年間としたい」と述べた。

「青年部次期部長承認」のほか「規約改定」についての議案では、中国ブロックと四国ブロックの統合により、「中国四国ブロック」となり、現行の10ブロックが9ブロックに改定された。この改正規定は、平成31年4月1日から施行される。

西村部長は「青年部は、このあと全国大会、旅館甲子園に向かってこれまでの1年半準備してきたことをしっかりと成し遂げ、その先につながる活動をもっ



上||都道府県会館で行われた臨時総会。下||技能実習制度と新しい在留資格について語る西村部長



あいさつする多田会長と民泊問題について語る桑田直前部長



横断幕を張って、10月30日に長崎ブリックホールで行われる全旅連青年部全国大会への大勢の参加を呼びかける塚島大会実行委員長と来年2月20日に東京ビッグサイトでされる第4回旅館甲子園のPR（写真真は懇親会）



懇親会であいさつする観議連の高階事務局長

て今期を締めくりたい」と、力強く語った。また、来賓では多田会長が「近年では、変化する状況や予期せぬ出来事に対して十分な適応を強く求められているが、私たちは案ずることなく、未来を拓く若い力と感性、そしてみんなで英知を結集して難局を乗り切っていく所存だ」と述べ、続いて桑田直前部長は「民泊については今や世界的な問題となり、近くニューヨークでフランス、カナダ、スペインが参加する民泊対策会議が開かれることになっている。私たちも世界と歩調を合わせながら、安心安全を前提とした民泊のルールとなるようしっかりと進めていきたい」と語った。

臨時総会の終了後は第5回県部長サミット&出向者スペシャルサミットと懇親会、また翌日には「外国人観光客の医療に関する意見交換会」が行われた（5ページに関連記事）。

第5回県部長サミット&出向者スペシャルサミット 「事業承継におけるケーススタディ」がテーマ

「債務・個人保証の承継」にどう向き合うか
事前の事業承継対策の重要性を説く

臨時総会における第5回県部長サミット&出向者スペシャルサミットでは、「事業承継におけるケーススタディ」をテーマにプルデンシャル生命保険株式会社の石黒由太氏=写真=が講演した。



石黒氏は事業承継で後継者に託すものは、継承者教育など進めながら経営権を継ぐ「人(経営)」の承継、自社株式・事業資産、債権や債務など「資産」の承継、経営理念や取引先との人脈、技術・技能といった「知的資産」の承継といった3つの要素であるとし、その中で、経営者の個人資産について会社との関係を整理する「資産」について述べ、資産承継を円滑に実現するための生命保険の活用について説明した。

この中で石黒氏は、一青年部員から提示されていた「経営者の急逝に備えるためにどうしたらよいか」とした問題提起に対しても触れ、親族内承継における諸問題として挙げられる「債務・個人保証の承継」にどう向き合うかについても詳しく解説。最後に事業承継は「対策すること」と「対策しないこと」の差は大きくなるとし、事前の事業承継対策の重要性を説いた。

「外国人客の医療に関する意見交換会」開催
青年部が問題の解決に向けて議論進める

全旅連青年部は臨時総会の翌日、自由民主党本部会議室で「外国人観光客の医療に関する意見交換会」を開催した。

6月に実施した自民党青年局との懇談会において、自見はなこ参議院議員から「外国人医療に関する問題」について意見が出され、青年部では、これを受けて部員に対してアンケートを行ったが、96名の回答のうち約4割が「外国人の病気やケガの対応をしたことがある」との結果となった。

意見交換会は、今後さらに外国人観光客が増えれば、この医療問題は業界にとってさらに深刻なものになる可能性があるとして行われたもので、青年部では、業界の現場の声を聞いてもらい、問題の解決に向けて議論を進めていきたいとしている。交換会に出席した都道府県の部長らが、それぞれの地域で問題となっている外国人医療問題について報告した。

意見交換会には自見はなこ、鶴保庸介両参議院議員のほか厚労省・観光庁・経産省の各担当者が出席した。

全旅連女性経営者の会(JKK)が勉強会開催 青森県の観光カリスマや会員による講演

人気を定着させた「地吹雪体験ツアー」
冬の活性化に今ではオール青森での取組み



講演する観光カリスマの角田氏(左)とJKK会員の杉澤さん

全旅連女性経営者の会(JKK、松崎会長)は10月3日、青森県鯉ヶ沢町のホテルグランメール山海荘で定例会議を開き、勉強会では角田周氏による講演、同ホテルの杉澤知恵会員による「会員による役立つ講座」を実施した。

国交省の観光カリスマ百選に選定され、県内外で活躍し、地元で津軽地吹雪会の代表を務めている角田氏は、演題を「～30年前から雪国インバウンド～津軽地吹雪体験秘話ヒストリア」とした。地吹雪の体験ツアーを始めたのは30年前。津軽出身の文豪・太宰治の小説「津軽」からヒントを得て「津軽七雪ツアー」を企画したが結果は全く応募がなかった。そこで考えついたのが、地面に降り積もった雪が強風で舞い上げられ、うなるような音をたてて吹き荒れる地吹雪。まさに、住民にとっては歓迎されない吹雪と寒さを逆手にとった大胆な「地吹雪体験ツアー」の構想だった。

初めは周りからはことごとく反対されたが、角田氏は「これほどにも反対されるなら企画としてはかなりインパクトがある」と考え、スタートに踏み切った。もんぺに角巻(雪国の防寒着)にかんじきを履いてのいでたちもいい。吹雪のない日は童心にかえて雪の中で遊びたわむれてもらうなど、心の原風景を思い出させてくれるさまざまな企画も考えた。これが大ヒットし、1シーズンに数万人も訪れるようになった。海外には「ワールドブリザード」としてPR。日系ハワイ、台湾からは定番観光となり、今も続いている。

「会員による役立つ講座」は定例会議開催ホテルの杉澤知恵会員による講演。「青森県の嫁っことなって。地域の魅力を世界に発信！」がテーマ。若女将の杉澤さんは台湾出身とあってインバウンドにも力を入れる。2009年は年間800人だったが、去年は3000人の外国人の来館があり、その多くを台湾が占める。若女将の積極的な取組みは、「全館Wi-Fi」「国旗での出迎え」をはじめ、他言語によるHP・パンフ・料理や飲み物のメニューづくり、通訳アプリ(Voice Tra)の活用、インターンシップの受入れ、中国語や英語による会話の社内勉強会など枚挙にいとまがないほどだ。

第21回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

全旅連シルバースター部会長賞

伊香保温泉旅館協同組合

「人材確保事業『夜間託児所の開設』～育児中でも働きやすい環境づくりを目指して～」

伊香保温泉旅館協同組合(群馬県)は、「育児中でも働きやすい環境づくり」を目的に、夜間託児所を平成30年4月に開設した。旅館業において労働力不足が深刻化する中、夜間でも子どもを安心して預けられる場所を提供してあげて、少しでも若い母親が働きやすい環境づくりをすることで、人手不足の解消につなげるのが狙い。県内の温泉地では初めてという。

託児所は地元渋川市の教育委員会が管理する渋川市立世代間交流館の一部を利用している。時間はかかったが、安価で借りることができた。開設に当たっては、県より安全面を考慮した改修指導もあり、幼児を安心して預けられるという託児所となった。冷蔵庫や電子レンジ、炊事場があり、幼児用の補助便座を置くなどすれば託児所に転用できるという。託児所として利用するスペースは16畳ほどだ。

夜間託児所運営実施要領もしっかりと決めた。対象となる幼児は、組合員企業従業員(正社員、契約社員、アルバイト等含む)の子どもで、満1歳以上、5名程度としている。保育に従事する者および資格についても詳細に記載している。託児所は当面は休前日および繁忙日の開設とし、午後6時から10時まで。1～4歳の幼児を保育士を含む2人のスタッフが面倒をみる。希望者が増えれば改めて態勢を考えるとしている。利用料は雇用者側である旅館がある程度の負担をするので、低料金の500円で利用できるようにした。

組合では「旅館業界では労働力不足が深刻化しており、空室があっても予約を断るケースも決して少なくない。特に厳しいのが仲居ら女性従業員の確保だが、出産を機に離職する女性も多い。働きやすい環境を整えて人材を確保し、旅館従事者の雇用拡大につながれば幸いです」と話している。



◀ 渋川市立世代間交流館の入り口



▲ 夜間託児所スペース(16畳)のようす



▲ 事務室

優秀賞

飛騨高山民宿協同組合

「人に優しい地域の宿づくり」

飛騨高山民宿協同組合(岐阜県、民宿・ペンションなど23施設が加入)は、日本人はもとより「外客にも優しい宿」として選ばれるよう組合員が相互協力してさまざまな取組みを進めている。

「訪日外国人の宿泊時に係わる環境負荷分の森林保全金への充当」もその一つ。組合員の中では、外国人客が8割以上の施設もあり、特に欧米人は環境意識の高い人が多いのが特徴であることから、国の「カーボン・オフセット」制度に登録し、顧客の宿泊時に排出される二酸化炭素(カーボン)の相当量分を金銭価値に変換、森林保護のために寄付している。この活動は組合のホームページで英語など9言語で掲載しているほか、各組合員も「オフセット宿泊プラン」と位置付け各自ホームページでPRしている。

また、中国で最も普及している現金不要で決済処理ができる「WeChatPay」(ウイチャットペイ)への対応を進めている。中華圏(中国、台湾、香港)ではウイチャットペイの利用者が多いことから、組合が日本開発会社と連携を図り、ウイチャットペイの決済サービスを導入したものの、「精算が早く簡単」「安心して入店できる」「友人に紹介しやすい」とあって好評だ。組合では各組合員に、また、商店街の店舗にも働きかけ、面的におもてなし体制を構築していきたいとしている。

このほか組合では「雇用促進・資源循環への貢献」として、不用品タオルを高山市福祉サービス公社へ寄贈し、再資源利用を通じた仕事づくりに努めている。また、専業農家と体験プログラムによる連携を行い、田植え体験、収穫体験などを通じて農家支援に貢献しているほか、地域のまちづくり団体の賛助会員となり、まちづくり拠点の活用や宿泊施設と地域との連携を推進している。



▲ WeChatPayのステッカーがあるコンビニエンスストアやカフェなどで使用できる



◀ WeChatPayでの決済処理。消費者が提示する支払用QRコード画面を読み取る

全旅連会議開催

【10月】

- 3日(水)～4日(木)
 - 全旅連女性経営者の会(JKK)定例会議
於：ホテルグランメール山海荘(青森県鮎ヶ沢温泉)
- 5日(金)
 - 全旅連都道府県組合事務担当者研修会
於：都道府県会館(東京都千代田区)
- 9日(火)
 - 全旅連シルバースター部会経営研究委員会
HACCP衛生管理事業現地調査
於：春日ホテル(奈良県奈良市)
- 17日(水)～21日(日)
 - ベトナム視察・調印式
於：ベトナムハノイ市
- 23日(火)
 - 全旅連住宅宿泊事業法対策委員会
- 26日(金)
 - 平成30年度生活衛生功労者表彰式典
於：ホテルニューオータニ(東京都千代田区)
- 30日(火)
 - 第24回全旅連青年部全国大会
於：長崎ブリックホール(長崎県長崎市)

腸内細菌検査、ノロウイルス検査 旅館・ホテル組合員特別価格のご案内

	腸内細菌検査(検便)	ノロウイルス検査
検査項目・方法	サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフスA菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O-157	RT-PCR法による遺伝子増幅法検査
報告日数	3～5営業日	1～3営業日
料金	※組合員特別価格 300円/1検体(税別)	※組合員特別価格 検査料金 2,950円/1検体(税別) 検査容器代 50円/1検体(税別)
備考	検体送料は、定期的実施分は弊社で負担いたします。追加実施分は、お客様でご負担願います。	検体送料は、お客様でご負担願います。(宅配便クール冷蔵指定)
検査申込書ダウンロード	全旅連公式HP「宿ネット」組合員専用ページ http://www.yadonet.ne.jp/info/member/	
お申込・お問合せ	JFE東日本ジーエス株式会社 食品衛生調査センター TEL:044-328-2788 FAX:044-333-1655 http://www.eisei-chosa.com/	

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2～3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約800軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。



11月29日にシルバースター登録審査委員会開催!

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。
◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL:<http://www.yadonet.ne.jp/>

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「経営者保証に関するガイドライン(第2回)」

前号に続き本ガイドラインについて説明する。

「事業承継」

後継者が個人保証なしで融資を受けることや、旧経営者の保証を解除するには、前号の「個人保証のない融資」3条件に加え、以下のことが求められる。

- 例) 旧経営者が、形式的にも実質的にも経営から退く場合
 - ・旧経営者が、法人から社会通念上適切な範囲を超える借入等を行っている場合には、それが返済される場合
 - ・法人の返済能力や担保が乏しく、金融機関が旧経営者の資産を信用補完上の保全価値があるものと認識していた場合には、後継者等から同等程度の保全が提供される場合

「事業再生や債務整理」

法人の債務整理手続きと同時に経営者の保証債務の整理を求めることができる。

対象となり得る保証人

- ・法人の法的整理手続き又は私的整理手続きの申立てを本ガイドラインの利用と同時に進行か、継続もしくは終結していること
- ・金融機関において、法人の債務及び保証債務が破産手続きによる配当よりも回収が多く見込めるなど、経済合理性が期待できること
- ・経営者に破産法に定める免責不許可事由が生じていないこと

「信用保証協会」

信用保証協会についても同様の取り扱いがなされている。いずれにしても能力のある弁護士・会計士・税理士などによく相談することをお勧めする。(詳細は金融庁、中小企業庁、中小機構、信用保証協会等のHPをご参照ください。)

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

宿泊施設の、宿泊施設による、宿泊施設のための

予約・販売管理システム

TL-Link

TL-リンク

旅行会社とネット販売を一元管理!

旅行会社とネット販売の
予約・販売・残室管理を1つに集約

ASP化により
複数の担当者の同時利用が可能

PMSへの入力・修正の負荷を、
カスタマイズ機能により大幅に削減

統計実績データをボタン1つで
集計・分析、営業力が強化

☞ ユーザー支援強化中!!

- ユーザーのお声をもとに、毎月機能増強を行っています!
- 操作フォローや勉強会を実施、導入後も支援します!

お申込み・
お問合せは

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-12-7
電話: 03-6835-8410 (代) FAX: 03-5476-8898
<http://www.seanuts.co.jp/> シーナッツ で検索

全旅連協定商社会名簿

協 賛	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 廣重 隆	TEL 03-6891-7200 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 専業・マーケット開発部 市場開発室 担当次長 橋本博史	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
	丸八真綿グループ(株) マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒321-0982 栃木県 宇都宮市 御幸ヶ原町81-7 (株) 東日本丸八真綿 宇都宮支店内営業部 副課長 玉木信安	TEL 028-663-6166 FAX 028-663-6238
	サントリーフーズ(株)	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当) 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル3階 サントリービバレッジソリューション(株) 広域法人営業本部 吉原 修 (西日本担当) 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F サントリーコーポレートビジネス(株) 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田美仁	TEL 03-3479-1541 FAX 03-3479-2060 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
	(株) リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 営業推進部 営業企画グループ 酒井 宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部法人営業推進課 全旅連担当顧問 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 エリアマネージャー 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-28-13 池袋西口共同ビル8階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	(株) エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOUND, UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 営業本部 直販営業部 担当副部長 近藤美佐雄	TEL 0120-141-224 FAX 03-6848-8186
	東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 副主任 米永有希	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIG損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F 市場開発部 開発営業課 二宮朋基	TEL 03-6848-8834 FAX 03-6689-2025
	楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 国内営業部 チェーンホテルグループ マネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システム TL-リンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4階 システムソリューション本部 営業G企画チーム 小川奈々絵	TEL 03-6835-8420 FAX 03-5476-8898
	(株) JTB(るるぶトラベル)	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 Web販売部 販売担当部長 須藤 淳	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
	ヤフー(株)	「Yahoo!トラベル」による 集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー 予約統括本部 営業本部 トラベル営業部 森 浩一	TEL 03-6898-3466 FAX 03-6685-0080
	(株) KNT-CTウェブトラベル	宿泊予約サービス e宿(いーやど)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル35F 宿泊企画部 課長 恩田 司	TEL 03-6864-4693 FAX 03-6864-4700
	(株) JTBビジネスインベーターズ	クラウド型業務システム、自社HP予約決済システム、外貨取扱支援など	〒108-0075 東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル7階 営業推進部 山村大樹	TEL 03-5796-5649 FAX 03-5796-5690
	(株) ネクシーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調などの省エネ商材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシーズスクエアビル サービス企画課業務推進係 井場裕紀	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン「OPTIMA」 宿泊料金比較サイト連携サービス「DRS」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2丸曜ビル3F DMO・地方創生推進室 鳥澤靖史	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071
	(株) Ctrip International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト「Ctrip」	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル9階 ホテル事業部 翟 峰(サイ ホウ)	TEL 03-6262-7666 FAX 03-6262-7667
	日本テクノ(株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 係長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
	(株) エスコ	省エネ設備機器等補助金申請代行コンサルティング	〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー12F ソリューション営業部 係長 小野寺雄士	TEL 03-5332-3166 FAX 03-5332-3512
	(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971
(株) アビリティコンサルタント	WEBサイト制作、自社HP予約エンジン「予約プロプラス」	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア7F 常務取締役 WEB事業統括本部 本部長 水野真寿	TEL 03-6712-6018 FAX 03-6712-6019	
住友林業(株)	旅館・ホテルリフォーム 新築、造園	100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 住宅・建築事業本部 市場開発部 副部長 藤山裕之	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861	
(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力(低圧)電気、 従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力マーケティング部 担当課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354	
(株) かんざし	OTAプラン作成等一括管理「かんざしクラウド」 OTA「ちこみ」一括管理「ちこみクラウド」	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-10-15 川名ビル5F 経営企画室 今井 理雄	TEL 03-6418-7774 FAX 03-6418-7772	
推 奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営営業部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601